

要望事項 (優先順位 2)

市道鞍馬6号線(二ノ瀬大橋上流左岸)の改修と石積護岸の天端嵩上げ

要 旨

二ノ瀬大橋上流左岸護岸上部に市道(鞍馬6号線)があります。石積護岸の天端は市道路面より下方にあり、市道面から石積護岸の天端まで斜面となっているため、道路幅が狭くなっています。路肩も鮮明でなく、人や車両の通行にも危険性があります。

また路面も雨天時には水たまりが発生、礫が突起するなど高齢者等が歩行しづらくなっています。石積護岸を路面天端まで嵩上げし、道路幅員を拡幅するとともに、道路面の改修をお願いします。

平成29年度の京都府からの回答は、「河川の管理上、現在のところ危険な状態ではないので、護岸の嵩上げの改修工事を行わない。」また、京都市からは、「路面改修を検討している。」との回答をいただいております。

護岸工事の石積の嵩上げを行い、道路の拡幅を行っていただきたいと思います。京都市は「京都市は行わない。」との回答ですので、京都市で護岸の嵩上げ等の改良をしていただき、市道の拡幅を要望します。

しかし、早急に拡幅できないのであれば、路面の改良だけでもお願いします。現状は、別添の写真のとおり、雨天時に水たまりが発生したり、路面には礫等が露出している状況です。

本市道は、二ノ瀬町の活動拠点であるお堂(集会所)に通う通路となっています。お堂では毎週金曜日に老人クラブが主催する「公園体操」が行われ、歩行に注意を要する高齢者の方々も通行されます。11月の第二日曜日の夜間には「お火焚き祭」が斎行され、松明に明かりで多くの方の行列が運行されます。地蔵盆や二ノ瀬町の総会、町役員会も夜間にお堂で開催されます。

また、叡電二ノ瀬駅から東海道自然歩道に至る通路でもあり、多くの方が利用されます。

二ノ瀬町では、毎年「お火焚き祭」の前に路面補修を行っていますが、高齢化も進み、困難となっています。本道路は市道であるため、今年度からは、京都市へ路面の整備についても要望します。時期としては、「お火焚き祭」斎行前をお願いします。

**回 答
(建設局)**

御要望の箇所に関して、道路の拡幅については、新たな用地の確保(民地側)に多大な事業費が必要なことから、本市の財政状況を考えると、その実施は困難な状況です。しかしながら、石積護岸の嵩上げ及び路面の整備につきましては、現場を確認のうえ、必要に応じて対策を検討しますので御理解賜りますようお願いいたします。